

読谷壺屋焼

金城敏昭 室
金城裕三

金城裕三 作陶歴

略 歴

- 昭和47年 1972 東京都品川区に(故)金城敏昭の長男として出生。
- 昭和47年 1972 祖父(故)人間国宝金城次郎、読谷村座喜味に登り窯構築那覇市壺屋より活動の場を移転。
父(故)金城敏昭と共に読谷に移る。
以後25年間、(父)敏昭は(祖父)次郎に師事し作陶に励む。
- 平成9年 1997 (父)金城敏昭の独立と共に作陶を始める。
- 平成23年 2011 (父)敏昭の逝去に伴い独立し現在に至る。

ごあいさつ

本日は足をお運びいただき誠に有難うございます。

私は、平成9年(1997年)から父(敏昭)のもとで生活雑器を中心とした作陶に粘土、釉薬、登り窯と昔と変わらぬ技法を日々修行し、平成23年(2011年)に独立を致しました。

作品をお手に取ってご覧頂き、お気に召されましたら幸いに思います。

〒904-0301

沖縄県中頭郡読谷村座喜味2677-3

TEL(098)958-2878

FAX(098)958-2878